日本航空 OB 乗員
有志の会ニュース

2017.12.17
No.17-027

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

12月6日参議院議員会館 院内集会参加報告

統一要求に結集して、内外の取り組みを強化 原告団・乗員組合・客室乗務員組合・支援者で 不当なJAL経営に解決を迫ろう！

2010年12月31日に日本航空が整理解雇を強行して、7年が経過しようとしています。2017年12月6日参議院議員会館会議室に於いて、原告団員・乗員組合員・客室乗員組合員・支援者及び弁護士・国会議員と秘書の皆さん含め170名が参加し、統一要求に結集してJAL解雇争議の早期解決を求める院内集会が開催されました。
OB乗員有志の会会員も参加しました。

参加者を代表して支援共闘会議共同代表の小田川全労連議長は「解雇事件の解決へ力を集中する時期だ。乗員組合・客室乗員組合による粘り強い団体交渉と原告団・組合・支援者による社外での取り組みによる社会的包囲の運動で、争議解決の道を切り拓く事が出来る。」と呼び掛けました。

また、牛久保弁護士からはILO勧告が三回にわたり出された経緯、今後も2018年3月の理事会で更に勧告又はアシスタンスが出されるよう要請している取り組みが紹介され、経営の決断を迫る取り組みに尽力をお願いしたいと述べました。

乗員組合と客室乗務員組合の代表は、高稼働の職場状況を報告すると共に、人員不足を解消して空の安全を守る為、解雇・退職強要を受けたパイロット・客室乗務員を職場復帰・再雇用する為の統一要求に基づく交渉状況を報告しました。

（詳細は**院内集会資料**参照）

支援者の皆さんからも多くの発言が有り、JAL整理解雇争議の粘り強い取り組みが、全国で同様の解雇やハラスメントなどの取り組みを行っている人達に勇気を与えている事が報告されました。そして多くの人達からの理解を進める中で、統一要求に団結して内外の取り組みを強化しようとの声が出され、熱気あふれる集会となりました。

山口原告乗員団長は「七年間の闘いは支援者の皆さんの支えが有ったからこそ継続できている。不当労働行為という憲法違反のもとの解雇だった事を訴え、粘り強く闘う」と訴えました。
内田客室原告団団長は「家族の介護で大変な中活動する原告もいる。4月から成田で職場ビラを継続的に配布しているが、職場から励ましの声がかかる状況になっている。早期に統一要求を実現したい。」と支援者の皆さんへのお礼も含め述べました。

（熱気あふれる会場）

お手盛り賞与
人員不足で事業計画は拡大出来ず
「止むを得ず解雇」の整理解雇者は
職場に戻さない
安全運航に対する懸念も

皆さん
2017 年度も
カンパ支援・取り組み参加
宜しくお願い致します

OB 乗員有志の会：カンパ振込先

今後の日程

＊宣伝行動・各地集会：私たちはあきらめない!!!
原告団 HP 日程参照

＊山口 宏弥氏 著書紹介
「安全な翼を求めて」　　アマゾン書評

・詳細は、枠内をクリックして御覧下さい。